

2022年4月28日

各 位

会社名	コマツ(株式会社 小松製作所)
代表者	代表取締役社長 小川 啓之 (コード:6301、東証 プライム市場)
問合せ先	サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部長 山下 千津子(TEL:03-5561-2616)

**新たな中期経営計画(2022年度～2024年度)
次の100年に向けて新たな価値創造を目指す
『DANTOTSU Value - Together, to “The Next” for sustainable growth』をスタート**

本日、当社は、「新たな中期経営計画(2022年度～2024年度)次の100年に向けて新たな価値創造を目指す『DANTOTSU Value - Together, to “The Next” for sustainable growth』をスタート」を発表いたしました。詳細は、添付ニュースリリースをご参照ください。

・株主投資家情報(中期経営計画掲載ページ): <https://www.komatsu.jp/ja/ir>

以 上

NEWS RELEASE

2022年4月28日
コ マ ツ
No. 0010(3130)

新たな中期経営計画（2022年度～2024年度）

次の100年に向けて新たな価値創造を目指す「DANTOTSU Value – Together, to “The Next” for sustainable growth」をスタート

コマツ(社長：小川啓之)は、次の100年も持続的に成長するために、新たな3カ年（2022年度～2024年度）の中期経営計画「DANTOTSU Value – Together, to “The Next” for sustainable growth」を2022年4月よりスタートしました。未来の現場に向けた次のステージに踏み出し、サステナブルな未来を次の世代へつないでいくため、新たな価値創造を目指します。

当社は、2021年の創立100周年を機にコマツの存在意義（ミッション、ビジョン）を「ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く」と定義し、また、価値観および、お客さまを含むすべてのステークホルダーへの約束であるブランドプロミスを明文化しました。これらを実現するための基本的な考え方が、コマツの経営の基本である「『品質と信頼性』を追求し、我々を取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和を最大化すること」であり、これを実現するための戦略が中期経営計画であると位置づけています。

当社の主力事業である建設・鉱山機械の需要は、中長期的には緩やかな成長が見込まれるものの、短期的には、さまざまな外部環境リスクの影響により、ボラティリティ（変動幅）は高まるものと見込まれます。産業機械他部門においては、半導体の旺盛な需要が継続し、自動車業界ではEV（電気自動車）化による自動車産業の構造変化が見込まれます。また、気候変動などへのサステナビリティ・インパクトに対する社会的な関心が高まる中、当社では、昨年、持続可能な社会の実現と事業継続性の向上に関する指針「サステナビリティ基本方針」を策定しました。さらに、温暖化対策と事業成長の両立を目指すチャレンジ目標「2050年カーボンニュートラル宣言」を打ち出しました。

こうした背景の下、当社は、新中期経営計画における成長戦略を通じて、「安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場をお客さまと共に実現する」という目指すべき姿の実現に向けて、ダントツ商品（製品の高度化）、ダントツサービス（稼働の高度化）、ダントツソリューション（現場全体の高度化）が三位一体となるダントツバリューで、収益向上とESG課題解決の好循環を生み出す顧客価値の創造を通じて、持続的な成長を目指します。

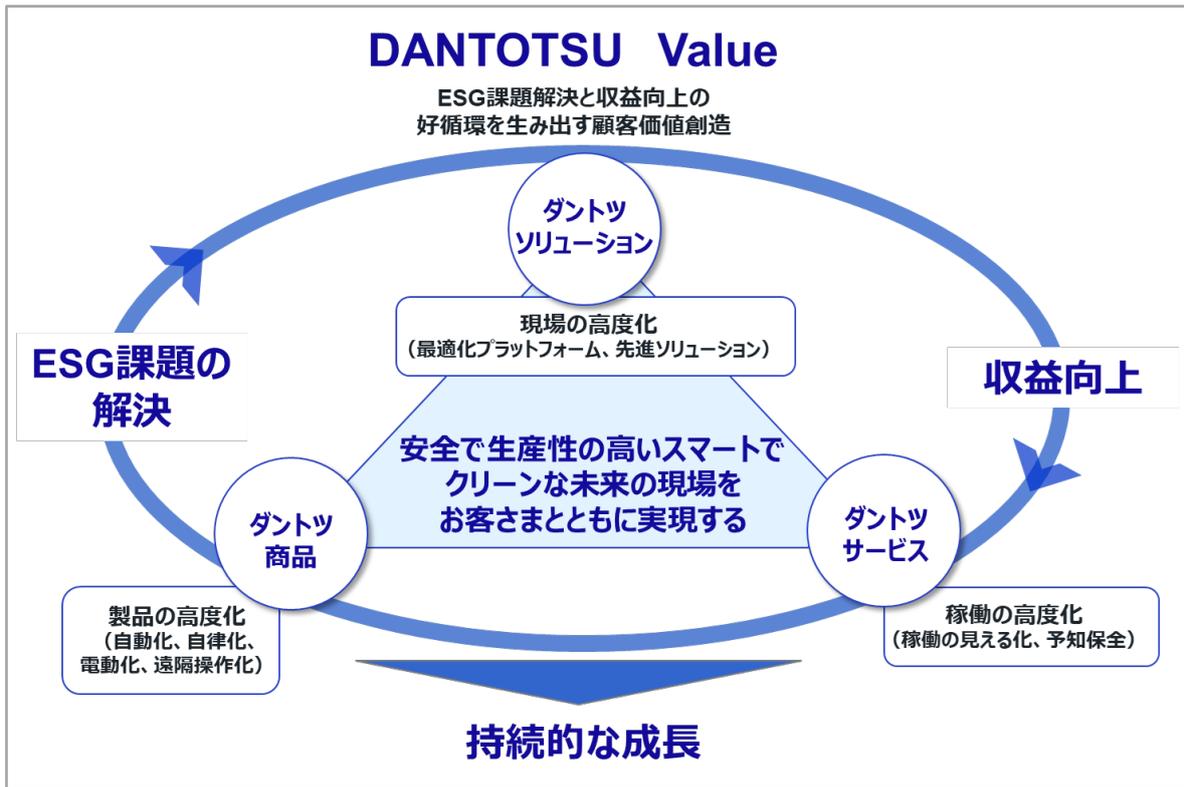
お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://www.komatsu.jp/ja

ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

(ダントツバリュー 収益向上と ESG の解決の好循環を生み出す顧客価値創造)



マテリアリティと事業ポートフォリオ

新中期経営計画の策定に先立ち、当社の事業とステークホルダーの皆さまの双方にとって重要な社会課題の中から優先課題（マテリアリティ）を抽出し、重要性が重なるエリアを、特に優先度の高い最重要課題の分野と位置づけ、「環境」、「顧客」、「社員」、「倫理・統治」の4分野を特定しました。収益向上と ESG 課題解決の好循環を生み出すために、4分野への活動を、成長戦略に反映しています。

また今回、当社の事業ポートフォリオについても、新中期経営計画の策定にあわせ、改めて整理しました。各事業セグメントが目指す中長期の方向性と課題を明確にし、新中期経営計画の重点活動に反映させています。建設・鉱山機械事業は、M&A も視野に入れながら、成長分野への重点投資を行い、ソリューションならびにバリューチェーンビジネスを拡充し、成長性と収益性をさらに向上させていきます。

お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://www.komatsu.jp/ja

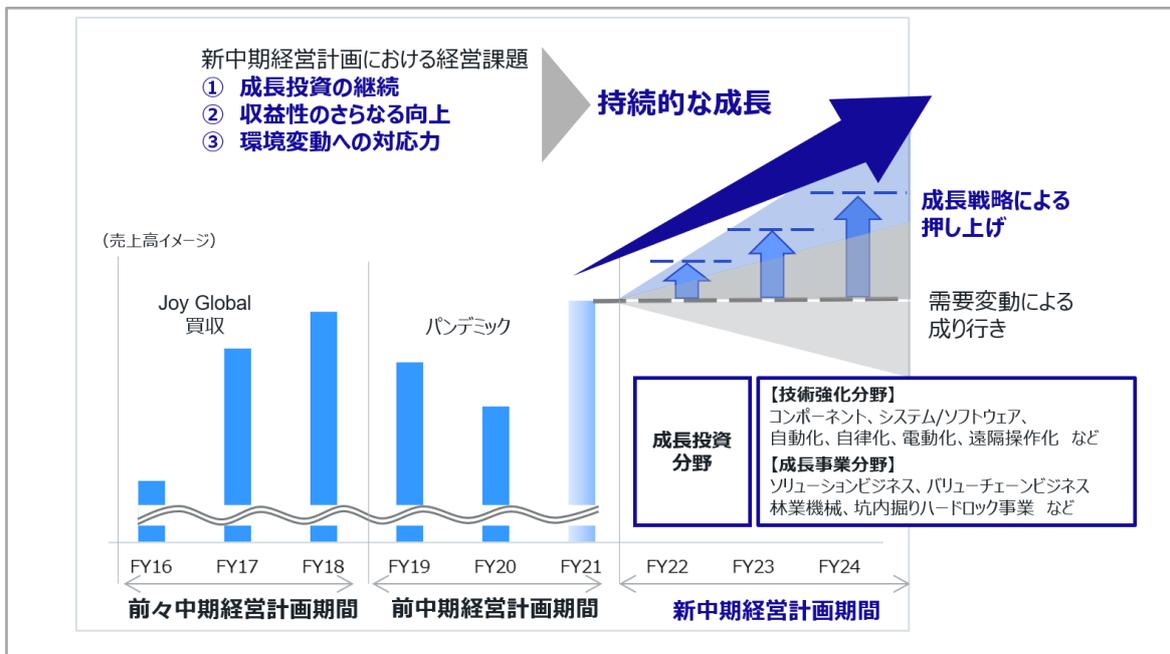
ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

成長戦略 3 本柱と重点活動

新中期経営計画では、前中期経営計画で掲げた「収益向上と ESG 課題解決の好循環」による持続的な成長を目指すサステナビリティ経営を引き続き重視し、新たな成長戦略の 3 本柱として、①イノベーションによる成長の加速、②稼ぐ力の最大化、③レジリエントな企業体質の構築、を掲げました。成長分野における新たな価値創造のための重点投資を継続するとともに、既存分野における収益獲得機会の最大化により、収益性の更なる向上を図り、需要変動に左右されにくい事業構造の構築を進めています。さらに、これらの活動を下支える経営基盤については、効率性の向上および環境変動への対応力を高めています。

(新中期経営計画の基本的な考え方)



お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL : 03-5561-2616 URL : <https://www.komatsu.jp/ja>

ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

(成長戦略3本柱)



(成長戦略における主な重点活動)

<p>1. イノベーションによる成長の加速</p> 	<p>現場を最適化する新たな顧客価値の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ DXスマートコンストラクションの推進、海外展開 ➢ 鉱山用オープンテクノロジープラットフォームによる事業推進 ➢ プラットフォームと親和性の高い高度化した商品開発・市場導入 <p>カーボンニュートラルに向けた価値（モノ・コト）づくりの挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 電動化機械の開発・市場導入 ➢ スマート林業の普及・拡大 ➢ 地球環境負荷ゼロ工場
<p>2. 稼ぐ力の最大化</p> 	<p>成長市場におけるプレゼンス拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ アジア・アフリカ市場への取り組み強化 ➢ 林業機械事業、坑内掘りハードロック事業の拡大 ➢ アフターマーケット事業の拡大 <p>バリューチェーンビジネスの進化による更なる成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ データ・ドリブン・ビジネスモデルの構築 ➢ ライフサイクルサポートビジネスによる差別化の推進 ➢ リマン・ビルド事業の拡大
<p>3. レジリエントな企業体質の構築</p> 	<p>効率的な事業運営とリスクマネージメントの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境変動に強い生産調達体制の強化（マルチソース比率の拡大） ➢ 経済安全保障リスクのアセスメントと体制の整備 ➢ グローバルなブランド戦略の展開によるコーポレートブランドの強化 <p>多様性に富む人材基盤の充実化</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ➢ 多様な能力開発機会の提供とエンゲージメントの向上 ➢ デジタル人材、オープンイノベーション推進人材の育成

お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部
 〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://www.komatsu.jp/ja

ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

成長戦略を通じた ESG 課題解決

当社は、サステナビリティ基本方針に基づき、次の 100 年も事業活動を通じて社会に貢献していくことを目指しています。このたびの新中期経営計画では、持続可能な開発目標「SDGs（Sustainable Development Goals）」17 のゴールの中から、コマツグループの重要課題（マテリアリティ）と特に関連性の高い 10 のゴールを新たに選定しました。さらに、成長戦略 3 本柱を通じた ESG 課題解決を着実に遂行していくために、KPI（Key Performance Indicator:重要業績評価指標）を設定し、その達成状況を把握し、統合報告書において開示していく予定です。

（ESG 課題の解決に向けた活動テーマとマテリアリティ・SDGs の関連性）

	SDGsとの関係	マテリアリティ（重要課題）	ESG課題の解決に向けた活動テーマ（主なKPI候補）
人と共に	ジェンダー平等 働きがいと経済成長 不平等をなくす パートナシップ	【社員】【人権】 ・労働安全衛生 ・エンゲージメント向上 ・D&I推進 ・能力開発 ・人権の尊重	安全で安心して働ける職場環境づくり（労働災害関連指標） 社員エンゲージメントの向上（エンゲージメントサーベスコア） ダイバーシティー & インクルージョンの推進（女性、障がい者比率） 個人の能力開発と事業成長の実現（DX・AI人材教育） 人権デューデリジェンスの推進（実績開示）
社会と共に	産業と技術革新 まちづくり つくる・つかう責任 パートナシップ	【顧客】【倫理・統治】 【地域社会】 ・ソリューション提供 ・製品安全・品質 ・ガバナンス ・コンプライアンス ・地域社会への貢献	スマートコンストラクション推進による建設現場の生産性向上（導入現場数） 持続可能な資源開発を実現する製品・ソリューションの提供（AHS累積導入台数） 顧客現場の安全性・生産性向上ソリューション：技術開発（自動化、安全装置 開発ステージ） 環境・需要変動に対応力のあるバリューチェーンの構築（アフターマーケット事業：売上伸び率、マルチソーシング比率） ガバナンスの充実、コンプライアンスの徹底（実績開示）
地球と共に	クリーンエネルギー 産業と技術革新 つくる・つかう責任 気候変動への対策 陸の豊かさ パートナシップ	【環境】 ・低炭素・環境負荷低減へのソリューション開発 ・資源循環 ・エネルギー使用量の低減 ・事業を通じた森林保全への貢献	地球環境負荷ゼロ工場（CO2低減、再エネ使用、水使用量） 顧客現場におけるCO2排出削減（製品使用のCO2低減、電動化建機開発） 持続可能な循環型林業を支援するソリューション提供（林業機械事業関連指標：売上伸び率、植林、スマート林業等） 循環型ビジネス（リマン）の促進（リマン事業：売上伸び率）

お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部

〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://www.komatsu.jp/ja

ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

NEWS RELEASE

中期経営計画の経営目標

経営目標については、前中期経営計画の経営目標である業界トップレベルの「成長性」、「収益性」、「効率性」、「健全性」を継続するとともに、「ESG」の経営目標には、2050年 カーボンニュートラルをチャレンジ目標として新たに設定しました。「株主還元」については、成長戦略への重点投資を優先しながら、引き続き 安定的な配当の継続に努め、連結配当性向を40%以上とする方針です。

項目	経営指標	経営目標
成長性	売上高成長率	業界水準を超える成長率
収益性	営業利益率	業界トップレベルの利益率
効率性	ROE	10%以上
健全性	ネットD/Eレシオ	業界トップレベルの財務体質
リテール ファイナンス事業	ROA	1.5% – 2.0%
	ネットD/Eレシオ	5倍以下
ESG	環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出削減：2030年50%減（2010年比） 2050年 カーボンニュートラル（チャレンジ目標） ・再生可能エネルギー使用率：2030年50%
	外部評価	<ul style="list-style-type: none"> ・DJSI*選定（ワールド、アジアパシフィック） ・CDP** Aリスト選定（気候変動、水リスク）
株主還元	連結配当性向	<ul style="list-style-type: none"> ・成長への投資を主体としながら、株主還元(自社株買いを含む)とのバランスをとる ・連結配当性向を40%以上とする。

* ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディセーズ：米国 S&P ダウ・ジョーンズ社とスイスのロベコ・サム社による SRI 指標

** 企業や政府が温室効果ガス排出量を削減し、水資源や森林を保護することを推進する国際的な非営利団体

以上

お問い合わせ先： コマツ サステナビリティ推進本部 コーポレートコミュニケーション部
 〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6 TEL：03-5561-2616 URL：https://www.komatsu.jp/ja

ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。